

令和6年度 第4回鉱業博物館開放講座 菅江真澄シリーズ

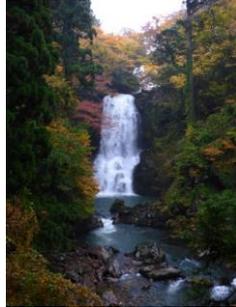
～日帰りバスで行く～

菅江真澄の足跡探訪会

真澄とめぐる象潟・鳥海山



三崎山旧街道



奈曾の白滝



「象潟と鳥海山」
(菅江真澄・画)



象潟模型
(象潟郷土資料館)



蛸満寺山門

菅江真澄が今の秋田・山形県境の三崎山を越え、初めて秋田の土を踏んだのは今から240年前の1784(天明4)年のことでした。象潟に3日間滞在し、地震で隆起する前の潟の風景と鳥海山を描いています。日記『秋田のかりね』の足跡を訪ねながら、象潟の旧跡と鳥海火山の景観をめぐる、バス&ウォークの旅にでかけてみませんか！

◆開催日：2024年9月28日(土)

◆募集定員：20名(先着順)

◆応募締切：9月20日(金)

※参加希望の方は、①名前②年齢③住所④電話番号を記入のうえ、下記アドレス宛へ電子メール、またはFAXでお申込みください。宛先(受付)は、秋田大学鉱業博物館事務局です。

・E-mail：w3admin@mus.akita-u.ac.jp

・FAX:018-889-2465

◆参加費：3,500円(昼食代、入館・参観料、保険料、資料代) ※出発後バス内で徴収します。昼食は鳥海温泉「遊楽里」(山形県遊佐町)レストランにて麺類をご用意します。

◆主催：秋田大学鉱業博物館／菅江真澄研究会

◆同行ガイド：永井登志樹(菅江真澄研究会副会長)

西川 治(秋田大学鉱業博物館副館長)

※定員になり次第、募集を締め切ります。ツアーの詳細や留意点については、参加される方にあらためてご連絡いたします。

※ツアーには急な階段の上り下りや、旧街道を歩く行程が含まれています。ご自分の体力を考慮のうえお申込みください。 ※提供いただいた個人情報を他の目的で使用することは一切ありません。

〈行程〉

- ・JR 秋田駅東口5番バス乗り場集合
出発 8:00
- ↓バス(日本海東北自動車道経由)
(象潟IC)
- ↓バス
- ・象潟郷土資料館
※企画展「一おくの細道—最北の地・象潟」観覧
- ↓バス
- ・三崎山(三崎公園)
※真澄が歩いた旧街道をウォーキング
- ↓バス
- ・鳥海温泉「遊楽里(ゆらり)」
※展望レストラン「ラ・メール」にて昼食
- ↓バス
- ・金峰神社(きんぼうじんじゃ)
※境内参観～奈曾の白滝展望
- ↓バス
- ・蛸満寺(かまんじ)
※本堂～境内参観
- ↓バス
- ・道の駅さかた
※展望室(九十九島)～自由行動
- ↓バス(日本海東北自動車道経由)
- ・JR 秋田駅東口5番バス乗り場
帰着 17:30(予定)